



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 アズマハウス株式会社
コード番号 3293 URL <http://azumahouse.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 行男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 真川 幸範

TEL 073-475-1018

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,874	7.1	798	14.3	814	△11.5	576	△6.5
27年3月期第3四半期	7,354	△25.9	698	△44.7	920	△22.6	616	△20.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	143.96	143.37
27年3月期第3四半期	156.81	152.66

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	25,011	12,199	48.8
27年3月期	23,973	11,900	49.6

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 12,199百万円 27年3月期 11,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,305	0.7	1,192	1.6	1,189	△12.8	772	△14.4	193.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	4,031,700 株	27年3月期	4,031,700 株
28年3月期3Q	23,000 株	27年3月期	39,500 株
28年3月期3Q	4,002,400 株	27年3月期3Q	3,931,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策や金融政策の効果などを背景に良好な企業業績の改善や雇用情勢の好転が見られ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

不動産業界におきましては、最低水準の住宅ローン金利や住宅支援税制などが後押しとなったものの、地方の住宅販売ははまだ消費税増税後における需要の回復には至っておりません。

その結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高78億74百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益8億14百万円（前年同期比11.5%減）、四半期純利益5億76百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

セグメントの販売状況を示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(千円)	前年同期比 (%)	内容
不動産・建設事業	5,849,921	6.0	土地分譲 273区画 3,013,386千円 建物 159棟 2,160,620千円 (うち売建 37棟、建売 95棟、注文建築 27棟) リフォーム工事 459,651千円 仲介手数料等 216,264千円
不動産賃貸事業	1,196,054	10.2	居住用 909戸 675,636千円 テナント事業用 235店舗 380,984千円 駐車場その他 139,434千円
土地有効活用事業	275,952	△1.4	資産運用提案型賃貸住宅建築、建売賃貸住宅販売
ホテル事業	552,092	17.5	ホテル室料、飲食売上等
合計	7,874,022	7.1	—

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 不動産・建設事業

売上高は58億49百万円と前年同期と比べ3億30百万円の増加（前年同期比6.0%増）、セグメント利益4億14百万円と前年同期と比べ1億87百万円の減少（前年同期比31.1%減）となりました。

主な内容としては、分譲土地販売、分譲住宅販売、建売住宅販売、注文建築、リフォーム、不動産仲介であります。

② 不動産賃貸事業

売上高は11億96百万円と前年同期と比べ1億11百万円の増加（前年同期比10.2%増）、セグメント利益4億44百万円と前年同期と比べ16百万円の減少（前年同期比3.6%減）となりました。主な内容としては、賃料収入、管理手数料であります。

③ 土地有効活用事業

売上高は2億75百万円と前年同期と比べ3百万円の減少（前年同期比1.4%減）、セグメント利益9百万円と前年同期と比べ4百万円の減少（前年同期比32.6%減）となりました。主な内容としては、資産運用提案型賃貸住宅建築、建売賃貸住宅販売であります。

④ ホテル事業

売上高は5億52百万円と前年同期と比べ82百万円の増加（前年同期比17.5%増）、セグメント利益1億51百万円と前年同期と比べ46百万円の増加（前年同期比43.8%増）となりました。主な内容としては、ホテル宿泊、飲食であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は250億11百万円となり、前事業年度末に比べ10億37百万円増加しました。

流動資産は94億64百万円となり、前事業年度末に比べ2億34百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の増加3億41百万円、販売用不動産の減少3億14百万円及び未成工事支出金の減少1億72百万円を反映したものであります。

固定資産は155億45百万円となり、前事業年度末に比べ12億73百万円増加しました。これは主として賃貸用不動産の新規取得等に伴う有形固定資産の増加12億55百万円を反映したものであります。

負債は128億11百万円となり、前事業年度末に比べ7億38百万円増加しました。

流動負債は42億28百万円となり、前事業年度末に比べ7億18百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金の増加4億55百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加5億23百万円、未払法人税等の減少1億82百万円を反映したものであります。

固定負債は85億82百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円の増加となりました。これは主として長期借入金の増加32百万円を反映したものであります。

純資産は121億99百万円となり、前事業年度末に比べ利益剰余金の増加2億84百万円により2億99百万円の増加となりました。これは主として、当事業年度に支払う配当金計上による繰越利益剰余金2億79百万円の減少及び四半期純利益5億76百万円を計上したためであります。自己資本比率は、前事業年度末の49.6%から48.8%と低下する結果となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、平成27年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,531,251	3,872,803
受取手形及び売掛金	20,939	37,610
販売用不動産	4,812,034	4,497,561
未成工事支出金	825,303	653,138
貯蔵品	7,531	10,257
繰延税金資産	51,391	23,174
その他	458,959	374,866
貸倒引当金	△7,531	△4,432
流動資産合計	9,699,880	9,464,980
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,367,043	4,646,741
土地	8,597,732	9,713,815
その他(純額)	577,678	437,034
有形固定資産合計	13,542,454	14,797,591
無形固定資産	34,894	27,373
投資その他の資産	694,756	720,424
固定資産合計	14,272,105	15,545,389
繰延資産	1,657	863
資産合計	23,973,643	25,011,234

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,430	11,912
工事未払金	384,066	366,272
短期借入金	493,400	948,400
1年内償還予定の社債	36,800	41,200
1年内返済予定の長期借入金	1,679,115	2,202,390
未払法人税等	199,779	17,070
賞与引当金	39,446	20,055
その他	667,531	621,535
流動負債合計	3,510,568	4,228,837
固定負債		
社債	25,800	3,000
長期借入金	8,136,473	8,168,647
資産除去債務	61,517	60,457
その他	338,843	350,710
固定負債合計	8,562,633	8,582,815
負債合計	12,073,202	12,811,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	528,963	528,963
利益剰余金	10,728,132	11,012,785
自己株式	△52,605	△30,630
株主資本合計	11,801,253	12,107,880
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99,187	91,700
評価・換算差額等合計	99,187	91,700
純資産合計	11,900,440	12,199,580
負債純資産合計	23,973,643	25,011,234

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,354,351	7,874,022
売上原価	4,720,526	5,151,516
売上総利益	2,633,825	2,722,505
販売費及び一般管理費	1,935,224	1,923,746
営業利益	698,601	798,759
営業外収益		
受取利息	580	575
受取配当金	40,711	11,935
受取手数料	15,891	21,943
保険解約返戻金	60,769	69,311
匿名組合投資利益	183,165	2,881
その他	35,142	30,692
営業外収益合計	336,260	137,340
営業外費用		
支払利息	103,081	109,822
その他	11,650	12,239
営業外費用合計	114,731	122,061
経常利益	920,130	814,037
特別利益		
固定資産売却益	24,314	29,055
受取補償金	4,135	10,530
特別利益合計	28,449	39,585
特別損失		
固定資産除却損	0	7,264
特別損失合計	0	7,264
税引前四半期純利益	948,580	846,358
法人税、住民税及び事業税	302,072	245,896
法人税等調整額	29,970	24,281
法人税等合計	332,043	270,177
四半期純利益	616,536	576,180

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	不動産・建設事業	不動産賃貸事業	土地有効活用事業	ホテル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	5,519,790	1,085,011	279,807	469,742	7,354,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,519,790	1,085,011	279,807	469,742	7,354,351
セグメント利益	602,322	461,585	13,662	105,039	1,182,610

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,182,610
全社費用(注)	△262,479
四半期財務諸表の経常利益	920,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	不動産・建設事業	不動産賃貸事業	土地有効活用事業	ホテル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	5,849,921	1,196,054	275,952	552,092	7,874,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,849,921	1,196,054	275,952	552,092	7,874,022
セグメント利益	414,976	444,877	9,215	151,039	1,020,108

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,020,108
全社費用(注)	△206,071
四半期財務諸表の経常利益	814,037

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。